



〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1丁目5番38号  
電話：029-227-4779 FAX：029-231-3878  
E-mail：webmaster@ibarakiken-pta.ne.jp  
ホームページ：http://www.ibarakiken-pta.ne.jp  
編集：同 広報委員会

もくじ

- 1 茨P連会長からのメッセージ
- 2 茨城県PTA振興大会
- 3 女性ネットワーク委員会
- 4-5 平成27年度 役員・委員長紹介
- 6 日本PTA全国研究大会(札幌市)
- 6-7 関東ブロック研究大会(横浜市)
- 7 広報紙の作り方研修会
- 8-9 特集 関東ブロック研究大会(茨城県)
- 10 県内ホット情報
- 11 表彰式典・書き損じハガキ回収活動
- 12 茨P安・茨P基金・編集後記

# たすけあいの心！ 茨城県PTA 県西地区の 一日も早い復興を！！



平成27年9月10日(木)に起きた鬼怒川の氾濫により、常総市を中心に多くの被害がありました。被災されたPTA会員の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。また、県西P連の斎藤会長からは、すぐに状況を知らせる電話をいただきました。大変大きな被害がありながら、数日後に、児童生徒が全員無事だったという報道を受け、ほっと胸を撫で下ろしました。学校も再開したところではありますが、普段の生活を取り戻すにはまだ時間がかかるように見えます。



ボランティア活動の様子

私も2回、現地に入り被害の状況を見て来ましたが、茨P連で何ができるのかを考えさせられました。現時点では、はっきりとした内容は決まっておりませんが、被災された単位PTAに対してできることを模索しております。数年前のつくば市で起きた竜巻被害の際には、県南PTA連絡協議会において基金を設立し、被災された単位PTAに対しお見舞い金を支出した例もございます。災害はいつ起こるかわかりません。茨P連においても、役員、理事の皆さんと共に対策を考えていきたいと思っております。



泥に覆われた校庭

結びに、被災されたPTA会員、児童生徒が一日でも早く元の生活に戻れるよう茨城県PTA全体で支援をしてまいりたいと思っております。

(茨城県PTA連絡協議会 会長 佐藤 秀行)



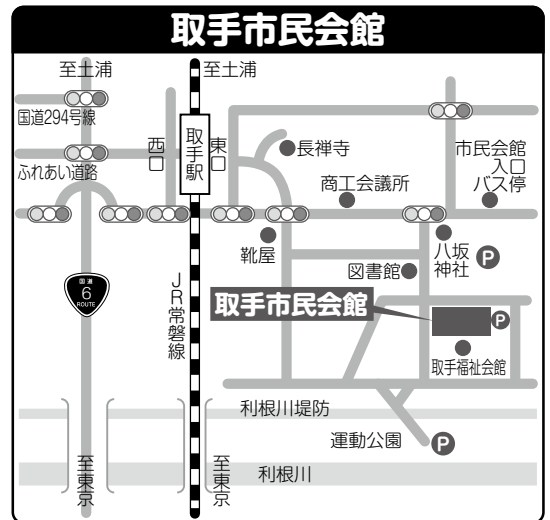
## 茨P連スローガン

# 「子どもたちとともに築く、輝く未来のために」 ～私たちのチャレンジする姿を、子どもたちに示そう～

## 平成27年度 茨城県PTA振興大会について

- 日時 平成27年11月21日(土)  
受付 12:00 12:30(開演)  
場所 取手市民会館  
住所 取手市東1-1-5  
電話 0297-73-3251
- 主な内容
- ①アトラクション 取手市立取手第二中学校
  - ②PTA活動発表  
第48回日本PTA関東ブロック研究大会  
茨城大会に向けて  
愛の記録「第50集入賞者による朗読」
  - ③基調講演  
株式会社こうゆう 花まる学習会 松島 伸浩氏  
演題

「わが子を『メシが食える大人』にする思春期の子育て」



### 松島 伸浩氏プロフィール

1963年生まれ、群馬県みどり市出身。現在、スクールFC代表兼花まるグループ常務取締役。

教員一家に育つも、私教育の世界に飛び込み、大手進学塾で経営幹部として活躍。

36歳で自塾を立ち上げ、個人、組織の両面から「社会に出てから必要とされる『生きる力』を受験学習を通して鍛える方法はないか」を模索する。その後、花まる学習会創立時からの旧知であった高濱正伸と再会し、花まるグループに入社。教務部長、事業部長を経て現職。過去25年間でのべ10,000件以上の受験相談や教育相談の実績は、保護者からの絶大な支持を得ている。子育て講演会、教育講演会は定員のため抽選になるほどの人気である。現在も花まる学習会やスクールFCの現場で活躍中である。



PTAの基本理念は「すべては子どもたちのために」であり、その方針に沿うべく皆さんのPTAでも日頃より様々な活動が展開されていることと思います。PTA振興大会は、県内で活発なPTA活動をしている単位PTAを紹介し、互いの刺激となることを目的として年に一度開催されています。



取手二中による空手演舞

本年度は、花まる学習会 松島伸浩氏による講演、アトラクション(取手二中による空手演舞)、「愛の記録」朗読などが予定されています。いずれも振興大会ならではの興味深い内容ばかりです。

また、いよいよ来年度は、**日本PTA関東ブロック研究大会**がここ茨城の地で開催されます。分科会・全体会等の準備が本年度より進められており、本振興大会においてその取り組みが紹介されます。14年に一度の開催が盛大に行われるよう、みんなで意識を高めていきましょう!

取手にて皆様のご来場をお待ちしております。





平成27年度茨城県女性ネットワーク委員会研修会報告

# 新しい形の研修会で 活発な意見交換!!



7月11日(土)大洗文化センター及び漁村センターにおいて、茨城県PTA連絡協議会女性ネットワーク委員会の研修会が行われました。今年の研修会は、5人ほどのグループの中で自分の意見を出し合うという、新しい形のものでした。内容が話し合いのため、200名に絞っての募集となり、参加できなかった方には申し訳なく思います。

グループワークでの話し合いは「子どもの自尊感情を養う」をテーマとして、小中学生の保護者に分かれて行われました。リードしてくださったのは、つくば市の「子育てカ

フェ・ポムポム」の先生方で、社会教育指導員等のお仕事を持ちながら、この形の話し合いを勧める活動をされています。分科会後の全体会では、先生方から3つの分科会の講評、質問にお答えいただき終了となりました。参加の皆さんに記入していただいたアンケートには「話し合う時間がもっと欲しいくらいに楽しかった」「自分たちでもやってみたい」と、肯定的な意見が多くあり、



参考になるアドバイスをくださった先生方



活発な意見交換をする参加者

グループワークのやり方を紹介できて良かったと、役員皆が嬉しく思いました。このように活発な意見交換ができるグループワークの手法が、参加者を通して各地区・各学校にも広がり、PTAや女ネットの活性化につながれば幸いです。

この度の研修会のためにご協力いただきました皆さまに、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



## ～平成27年度地区別活動テーマ～

〈中央地区〉

「今のあなたでいい  
親も子も・・・  
信頼そして絆へ」

〈県北地区〉

「子どもと  
ふれあおう  
深めよう  
“家族の絆”」

〈県東地区〉

「家庭・学校・  
地域と一緒に、  
親も子も  
育ちあおう！」

〈県南地区〉

「人との  
つながりを深め、  
親も子も育ちあおう！  
～家庭・学校・  
地域と共に～」

〈県西地区〉

「PTAから  
PTCAへ  
～地域との  
かわりを  
考えよう！～」



# 平成27年度 佐藤新体制 顔ぶれと抱負

## 副会長 北村 雅大

(中央地区 水戸市立稲荷第二小学校)

お話しをいただいた時は、PTA活動に参加して日は浅く迷いもありましたが、日頃から自分の子どもたちに「失敗してもよいから、何事にも積極的にチャレンジしてみよう」と言っていることもあり、今回はチャレンジしてみようと思いました。

自分の活動が少しでも県内のPTA会員さんの手助けになり、子どもたちが笑顔になれるように頑張っていきたいと思っております。

## 広報委員会

今年度より年2回の発行となりますが、これまでの広報紙のスタイルを踏襲し、読者の皆さんが知りたい・読みたい等の様々な要望をくみ取りながら、委員の皆さんと協力して今後、広報紙作りを行ってまいります。広報紙を全部読んでいただけるような、特集記事の掲載にチャレンジし、今年度も「読者の立場になって」を心がけ、内容の充実を図ってまいります。



## 副会長 後藤 勇人

(県北地区 常陸太田市立太田小学校)

これまでのたくさんの出逢いと貴重なご縁により、今年度、初めて副会長に就任することになりました。

PTA活動を経験する中で、最初は子どもや学校のためとの思いでしたが、今では親である自分自身の成長の場であり、親と子の大切な気づきの時間であると思っております。そして、たくさんのPTA会員にこの思いを伝えていきたいと思っております。

PTA活動を通して、会員同士の絆が広がり、共に成長し合うことができれば、子どもたちのための生き生きとした魅力ある地域社会が創れるものと信じております。

今年度も会員の皆さんに支えられながら、親と子の絆と成長のために頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



## 副会長 草野 宏

(県東地区 潮来市立潮来第一中学校)

副会長2年目になります。今年度も茨城県のPTA活動の活性化のために、お役にたてるよう努力したいと思います。

PTAの活動は、私たち大人が共に向かい合い、子どもたちの未来を語り合う素晴らしい環境です。多くの方に、実感していただけることを望みます。きっとPTA活動の充実が、社会全体をより良くするでしょう。

最後に、私が会長を務める単位PTAでの合い言葉が、とても気に入っているので、ここでも使います。

「みんなやろうぜ！」



## 副会長 吉岡 高彦

(県南地区 守谷市立松ヶ丘小学校)

県南地区を代表し、副会長に就任しました。今回、我が子から「期待され声をかけてくれたのだから、感謝の気持ちを忘れず期待に応えよう」と後押しをされたことで、引き受ける決心をしました。

多くの子どもたちにチャレンジし、努力する姿を見せる一方で、楽しむ気持ちも忘れず子どもたちのために頑張りたいと思っております。

## 組織運営委員会

現在茨城県では、少子化、会員数の減少、小中学校の統廃合が進む状況にあります。

地域格差なども加わり市町村ごとの活動にも差があることから、全てのPTAできる組織体制を目指してまいります。

茨P連の活動にあたっては、無駄をそぎ落とし、多くの会員が互助の精神で助け合える組織にします。



## 会長 佐藤 秀行

(県南地区 牛久市立牛久第二中学校)

本年度会長に就任いたしました。県南地区の牛久市立牛久第二中学校より参加しております佐藤です。茨城県PTA連絡協議会に役員として2年目になります。

私が考えるPTA活動とは、子どもたちの幸福を願う大人たちが活動でき、大人も成長できる場を提供していこうと思っております。来年の日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会に向けて、1年間よろしくお願いいたします。



## 副会長 黒田 さえ子

(県東地区 神栖市立軽野小学校)

今年度より、副会長の任にあたらせていただくことになりました。何をどうしたらよいのかさっぱりわからず、要請があった会議に、言われるまま出席している状況です。

話し合いの中で、PTA会員は生の声を求められていると強く感じました。今の子育てや学校の現状については、皆さんからの提言もあり、自分もまた現役なのでよくわかります。これらを伝えることがよりよい子育てにつながると思われ、母親としても真剣に努めたいと思っております。

## 女性ネットワーク委員会

今年度の活動テーマは「人とのつながりを深め、親も子も育ちあおう！～家庭・学校・地域と共に～」です。

昨年度から、親と子の自己肯定感や自尊感情を考える活動を続ける中で、今年度の委員長に就任しました。歴代委員長の様にしっかりやれる自信は全くありませんが、私なりに懸命に頑張っていきます。

女ネット委員の皆さんと男性PTA会員の方々のご協力を、よろしくお願いいたします。



## 副会長 田邊 一男

(学校長会 水戸市立第一中学校)

役員となって、休日や平日の18時半からの会議に何度か参加しました。ボランティアとしてPTAの皆さんが、こんなにも熱い気持ちで、子どもたちのため、学校のため、地域のために頑張っているんだということを実感しました。子どもたちが、世界のなかでグローバルに、地域においてローカルに、夢をもって豊かに生きていく力を身に付けるためには、学校・家庭・地域が力を合わせる事が重要だと思っております。

微力ながら、ぜひそうしたお手伝いをしたいと思っております。



## 副会長 斉藤 裕光

(県西地区 筑西市立関城中学校)

「子どもたちが毎日明るく元気に学校に通う」これは保護者、先生、地域、全ての方の願いです。そのために、日頃いろいろな取り組みに汗を流しているPTAは、とても素晴らしい活動だと思います。PTA会員がいつも元気に明るく前向きに取り組んで行くことが、子どもたちの教育環境の充実につながります。元気だけがとりえの私ですが、少しでも力になれるように取り組んでいきたいと思っております。

## 教育問題委員会

子どもたちを取り巻く教育環境、社会情勢はものすごいスピードで変化しています。そのような状況の中、PTAは地域や各機関と一緒に具体的に活動する必要があります。今、子どもたちのためには何が必要で問題の根源は何か、常に問題意識を持ち、より良い解決策を模索する必要があります。教育問題委員会では、PTAの力を集め子どもたちのために、必要な活動を進めてまいります。







## 第63回日本PTA全国研究大会 札幌大会

大会スローガン「ひろがれ 子の未来!つなぐ親力!」  
～今 札幌から始まるこれからのPTA～

### 緑豊かな北の大地、札幌でPTAの素晴らしさを実感してきました～参加報告～

開催日：平成27年8月21日(金)～22日(土)

暑さの残るなか、日本PTA全国研究大会札幌大会に参加するため、茨城空港から飛行機に乗り北海道へ行ってきました。茨P連からは県内の各地区より総勢50名が参加しました。

初日、私は第6分科会の人権教育に参加してきました。アトラクションとして、中学生全国民謡チャンピオンの小山田祐輝さんによる熱演の後、リサイクル用マグネットと宇宙開発を行う、植松電機の植松努さんによる「おもいは、招く 夢があれば何でもできる」と題した基調講演が行われました。植松さんの夢は昔から「宇宙に行くこと・ロケットを作ること」でした。周囲の人からは「どうせ無理」と否定されますが、植松さんは「どうせ無理」と否定的に考えるのではなく「だったら、こうしてみたら」と肯定的に考え、実行することでロケット開発に成功し自信を持つことができたそうです。

講演の内容は、子どもたちに接する時も、否定的でなく肯定的な考えを促し、いろいろな選択肢をあたえるなかで子どもが自信を持ち可能性を伸ばすことが重要だと感じる、素晴らしいものでした。

2日目は、「北海きたえーる」で全体会が開催されました。全体会のステージでは、地元の児童生徒が中心の平岸天神ジュニア等による「YOSAKOIソーラン」の踊りが披露されました。

また、脚本家の倉本聰氏による記念講演「あなたは子どもの想像力を育てていますか」が行われ、氏の少年時代経験や富良野塾時代の塾生たちの交流と経験から、実体験に基づいた相手を感じる想像力を養うことの大切さを語られていました。

その後、大会宣言が採択され、次回開催地に大会旗が引き継がれました。

今回の開催地は、徳島県です。(広報委員長 北村 雅大)



クラーク像の前にて



## 広報紙の作り方研修会(茨P連主催)

6月11日(木) 鹿行生涯学習センターにおいて、茨P連主催の「広報紙作り方研修会」が開催されました。平日の開催にもかかわらず、遠く県西地区や中央地区からの参加もあり、皆さんの熱心さでとても有意義な勉強会となりました。

当日、全員が時間前に集合して定刻に会を始めることができました。お父さん方の参加も多く、その真剣な姿に主催者としても感激を新たにしました。

講師の坂場安男氏は、長年PTA広報紙の指導に携わっておられ、現在は県の広報紙コンクールの審査員でもあります。以前、手品の校長先生としてTVの某番組に出演された方ですので、その腕前を披露しながら楽しく「紙面作りのいろは」を教えてくださいました。午前・午後の研修会も、あっという間に過ぎた感じがあります。

広報委員になったけれどちょっと心配、マンネリを変えたい、と考えるPTA会員はたくさんいるはず。会長や担当の先生、広報委員の皆さんに、作り方研修会があることを積極的に伝えてください。今後も、大勢の方の参加をお待ちしています。(茨P連副会長 黒田 さえ子)



熱心に聞き入る参加者

## 広報紙の作り方研修会(広報委員会主催)

6月27日(土) 水戸生涯学習センターにおいて、茨P連広報委員会主催の「広報紙の作り方研修会」が開催されました。主に広報紙作成に初めて携わる方を対象に募集したところ、県内の小中学校PTAより65名の参加がありました。

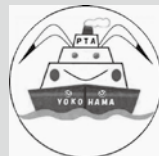


広報紙を見て回る住谷先生

実践発表では、第36回全国小中学校PTA広報紙コンクールで日本教育新聞社社長賞を受賞した守谷市立大井沢小学校と、同コンクール佳作を受賞した水戸市立第二中学校の発表がありました。大井沢小は「ミクロとマクロ」という遠近視点を持ちながらの広報紙作り、水戸二中はビジョンを持って勇気を出して委員会を行っていることなどが印象的でした。

講話では、「広報紙の作り方について」と題し、元茨城県新聞教育研究会会長・元城里町立石塚小学校長の住谷里子先生のご指導のもとオリジナルの資料を題材に、自校広報紙評価などを行い、他校と広報紙を見せ合いながら情報交換をして有意義な研修会になりました。

(広報委員 萩原 佐江子)



## 第47回関東ブロックPTA研究大会 横浜大会

大会スローガン【知・徳・体・公・開】想いをつなぐ教育文明開化  
～子どもたちと見すえる未来への船出～

開催日：平成27年10月24日(土)～25日(日)

第3分科会 徳「豊かな心」 研究テーマ みんなちがってみんないい  
事例発表 「良くしたい」を合い言葉に 誰もが輝くPTA活動  
茨城県水戸市立第四中学校PTA顧問 矢口 みどり

水戸四中は、全校生徒887名の県内2番目の大規模校です。23種の部活動があることで、それぞれの生徒の力を発揮できる機会に恵まれています。また1学年8クラス以上の学校生活では、数多くの人間の中にもまれ、たくましく生きていく子どもが大半を占める反面、学級や学校にうまく適応することができず悩む子どもや問題を抱える子どもも見られます。

そうした状況にPTAとして、子どもたちのため、学校のために何ができるかを真剣に話し合ってきました。そして行きついた思いが「良くしたい」です。

- ・水戸四中をもっと「良くしたい」思い
- ・水戸四中をもっとよくするために「ダメなことはダメ」と導く「抑止隊」

この合い言葉を基にして、誰にでもわかりやすく、取り組みやすい活動にするように工夫し、活動を浸透させる努力をしてきました。

今年度は「子どもたちが安全に安心して学び活動できる環境を維持し、一人ひとりの夢や希望の芽を温かく見守り、みんなが輝くPTA活動を展開する」を目標に活動しています。



「良くしたい」シンボルマーク



## 茨城の「PTAの力」を他県に発信しよう!～発表者からのメッセージ～

第6分科会 開「国際社会に寄与する開かれた心」  
研究テーマ 国際理解 ～地球市民として「ここ」からはばたこう～  
事例発表 ランドセルは海を越えて～つくばからアフガニスタンへ～  
茨城県つくば市PTA連絡協議会顧問 海老澤 裕之(写真)  
茨城県つくば市PTA連絡協議会顧問 後藤 秀一

つくば市PTA連絡協議会では、平成25年度から取り組んでいる、使い終えたランドセルを教育の機会に恵まれない子どもたちの就学に役立てる活動「思い出のランドセルギフト」ランドセルは海を越えて～つくばからアフガニスタンへ～について、関東ブロック横浜大会「第6分科会」にて発表させていただくこととなりました。

この活動は、子どもたちに「広く世界に目を向け、助け合う豊かな心を育んでもらいたい」「物を大切にすることを育んでもらいたい」「そして、将来つくばで学んだ知識と経験を、世界の人のために生かしてほしい」そんな願いから実施したものです。初年度には、子どもたちの思い出と真心のこもったランドセル450個が寄せられ、併せて寄せられた文具と共に横浜港から海を渡り、パキスタンを経てアフガニスタン北東部ナンガール州の子どもたちに届けられました。「今、同じ時を生きる世界の子どものために!」この思いは引き継がれ、翌年度にも300個を超えるランドセルを寄贈することができました。

国際理解を深めるために何かできることはないか、との思いから始まったこのPTA活動は、人と人を繋げ、広がり、深まっていきます。次世代への架け橋として、世界に向けたこうした活動の輪が、大きく広がっていくことを心から願っています。







# 特集

## 第48回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会

第48回日本PTA関東ブロック研究大会茨城大会の開催が、一年後に迫りました。おもてなしの心で皆様をお迎えし、また茨城県PTAの結束力と底力を発揮できるよう、実行委員会を中心に準備を進めているところです。この大会を、私たち大人の学びの場として、あるいは交流を広げる機会と捉え、多くのPTA会員の皆様と共に充実した実りあるものにしたいと思っております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



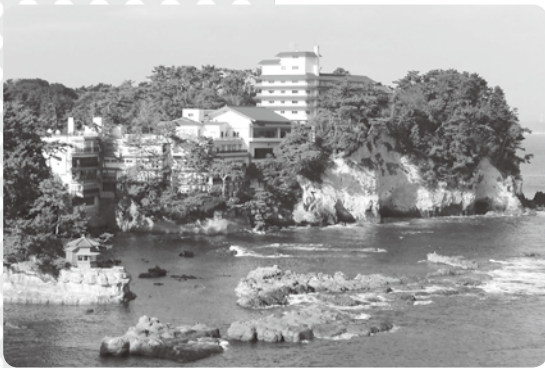
(大会実行委員長)  
重藤 弘之

### 大会スローガン

歴史と未来が息づく常陸国から 伝えたい願い 伝わる想い  
～愛する子どもたちへ贈るメッセージ～

## 「自然」からのメッセージ ～かけがえのない子どもたちの命を守るために～

第1分科会  
安全・安心  
県北地区



五浦観光ホテル 別館 大観荘

東日本大震災で、甚大な被害を受けた北茨城市において「安全・安心」をテーマに分科会を開催することは、とても意味深いことと感じています。北茨城市民は、津波によって街を破壊される恐怖や不便な避難所での生活など、辛く厳しい経験を致しました。しかし、一方ではその後の復旧・復興の過程において、周りの人たちと助け合い協力し合うことの大切さや人との繋がり・絆と言うものを強く感じました。震災から4年が経ち、我々は様々な経験を積んでまいりました。その経験をもとに、改めて「安全・安心」について、皆様と一緒に



(運営委員長 鉄 寿幸)

考えてみたいと思っております。また、日本近代美術に多大な功績を残した岡倉天心、童謡作者の野口雨情などの著名人や文化財、観光スポットなど北茨城市の魅力もPRできればと思っております。

いにしえ

## 「古」からのメッセージ ～世代を超えて子どもたちに守り伝えるもの～

第2分科会  
伝統文化  
県北地区



東海文化センター

日本には、歴史の中から生まれ、大切に守り伝えられてきた伝統や生活の中で定着している文化がたくさん存在します。これらは、私たちが心豊かな生活を実現するための基盤であり財産です。私たちの世代は、受継いできた伝統文化を確実に次世代へ継承していく責任があります。子どもたちは、これら伝統文化に触れ体験することにより豊かな心が育まれます。また、日本の素晴らしさを誇りに思い、世界の中で日本人として生きていくために、何をどのように生かしていくか理解し実践しながら、次世代へと伝えていく。このような思いを胸に、この分科会を開催していこうと思っております。



(運営委員長 仲田 康人)



## 「心」からのメッセージ ～思いやる気持ち・伝えたい想い・つながる心～

第3分科会  
人権  
中央地区



茨城県立県民文化センター 小ホール

今回のテーマは、非常に幅が広く複雑で多面的な問題を含んでいます。そのような中、分科会では講演会と2団体の事例発表を考えています。

近年、インターネットやスマートフォン等の普及により、子どもたちを取り巻く環境は急速に変化しています。それにより、LINEを代表とするソーシャルネットワーク上でのトラブル、いじめ等が増加しています。ネットワーク上のことであるため、表面上ではわかりづらく、保護者や先生方が把握しづらい状況となっています。また、相手と顔をあわせないネット上でのコミュニケーション

ンでは、いじめられる側（被害者）、いじめる側（加害者）がその時々で入れ替わります。そのような現状では、子どもたちが相手の立場にたって考えられる力、すなわち創造力のある「心」の育成が問題解決には大切だと考えます。

そのような「心」を子どもたちが育むために何が必要なのか、それを参加する皆様で考え、何かしらのヒントを持って帰れる分科会にしていきたいと思います。

(運営委員長 永盛 久貴)



## 「結」からのメッセージ ～手を結び、心を結び、大きな力に～

第4分科会  
組織運営  
中央地区



ひたちなか市文化会館 小ホール

当分科会は、2校のPTA活動発表と講演会を行う予定です。

「結」という言葉には、つなぐ、集まるという意味があります。PTAというと「かかわりたくない」「やりたくない」「面倒」という、マイナスのイメージがあるかもしれません。しかし、このイメージというものは、PTAに対する先入観であって、食わず嫌いの思い込みという側面もあると思います。私は、PTAとはどんな存在であるか考えてみました。自分の子どもは自分ひとりで育てているわけではありません。実際には、多くの人に支

えられているということに気づきます。そう考えると、PTAとは、先生と保護者だけではなく、地域の住民が力を合わせて、子どもたちが健康に安全に、安心して学ぶ環境を作るために存在するものではないか、と考えました。

子どもたちが学ぶ最適な環境、子どもたちが将来に「夢を“結ぶ”」(＝夢を見る)ことができる環境を作るためには、どのようなPTA活動をすればいいのか、どのように運営をすればいいのか、考えなければいけない問題は、様々にあると思います。参加者の皆さんが、自分たちのPTA活動のヒントになる何かを見つけることができる分科会にできたらいいと思っています。

(運営委員長 照沼 悦子)



各分科会運営委員長からのメッセージを Vol : 1 2 3 と Vol : 1 2 4 の2回に分けて紹介します。





## 県内 ホット情報 三の丸「わくわくミステリーサタデー」中央地区

三の丸地区では、三の丸小学校の児童を対象に、毎週土曜日の午前中を利用し、三の丸「わくわくミステリーサタデー」を開設しています。この活動は、平成16年に文部科学省により施行されました「子どもの居場所づくり事業」の一環として始まりました。

現在は、地域の各種団体（三の丸自治コミュニティ連合会・三の丸小学校・三の丸学区子ども会育成連合会・三の丸小学校PTA・三の丸市民センター）に、運営委員会としてバックアップをいただき、地域ボランティア



かさ袋ロケット上手につくれるかなあー

と茨城大学の学生で、企画運営を行っています。

七夕やお月見などの季節の行事を盛り込みながら、陶芸・ピクニック・茶道など、子どもたちがわくわくするプログラムが盛りだくさんとなっています。また、地域社会全体で、心豊かでたくましい子どもたちを育てていくことを目的として、地域の方々との交流を大切に活動をしています。

（広報委員 佐々木 美夏）



飛んだ！飛んだ！わあすご〜い

## 県内 ホット情報 波一（なみいち）感謝祭～梅雨空を吹き飛ばし旧校舎へお別れ会～ 県東地区

この度、6月14日（日）に開催した波崎第一中学校のイベントは、旧校舎の解体前に、ここで学び、巣立った15,000余名の感謝の気持ちを表したいという単純な動機から始まりました。

その後、PTAや同窓生から実行委員を募り、学校側と話し合いを重ねた結果、旧校舎の中で落書きをしたり、給食形式の食事を取ったり、校庭に出店が並んだり、徐々に規模が大きくなりました。

お祭り気分と並行して、体育館では来賓を招いての厳粛な記念式典もあり、旧校舎を設計してくれた会社の現在の取締役室長に感謝状を贈呈しました。「建物が消える時に呼んでもらえたことは初めてで、冥利」と言われて、私も胸が熱くなりました。



式典の様子

当日は、1,522名の

たくさんの卒業生が来てくれました人びとが集い、交流を深め、次世代に伝統をつなぐよい感謝祭となりました。

開催にあたり、茨P安の基金より助成をいただいたことに、改めて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

（神栖市立波崎第一中学校PTA会長 伊藤 徳也）



たくさんの卒業生が来てくれました





# 平成27年度 茨城県PTA振興大会 表彰式典

日時：平成27年12月5日（土）  
 受付：10時 開会：10時30分  
 場所：ホテルレイクビュー水戸  
 住所：茨城県水戸市宮町1丁目6-1  
 電話：029-224-2727



平成26年度の様子

## 表彰内容

- ◆優良PTA文部科学大臣賞
- ◆日本PTA全国協議会 会長表彰
- ◆茨城県PTA連絡協議会 会長表彰
- ◆第37回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰
- ◆第24回PTA広報紙コンクール表彰
- ◆家庭教育実践事例集第50集「愛の記録」表彰
- ◆楽しい子育て全国キャンペーン三行詩表彰

## 平成26年度 楽しい子育て全国キャンペーン三行詩 受賞作品

### 小学生の部（佳作）

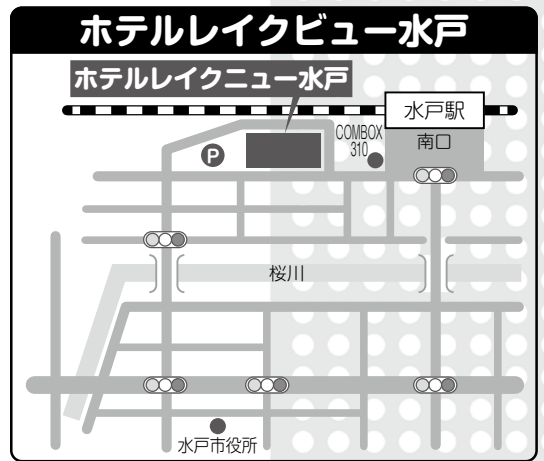
ままに、だれがいちばんすき？ってきくと、いっつもおなじこたえ  
 おねえちゃん、とくべつ ぼくは、たからもの おとうとは、とっておき  
 ばばは、べっかく

小波 映太さん（筑西市立関城西小学校1年）

### 中学生の部（佳作）

けんかして 放置しちゃった晩ご飯 テーブル見ると温かご飯  
 一人で食べて涙こぼれる。

海野 綾花さん（水戸市立見川中学校3年）



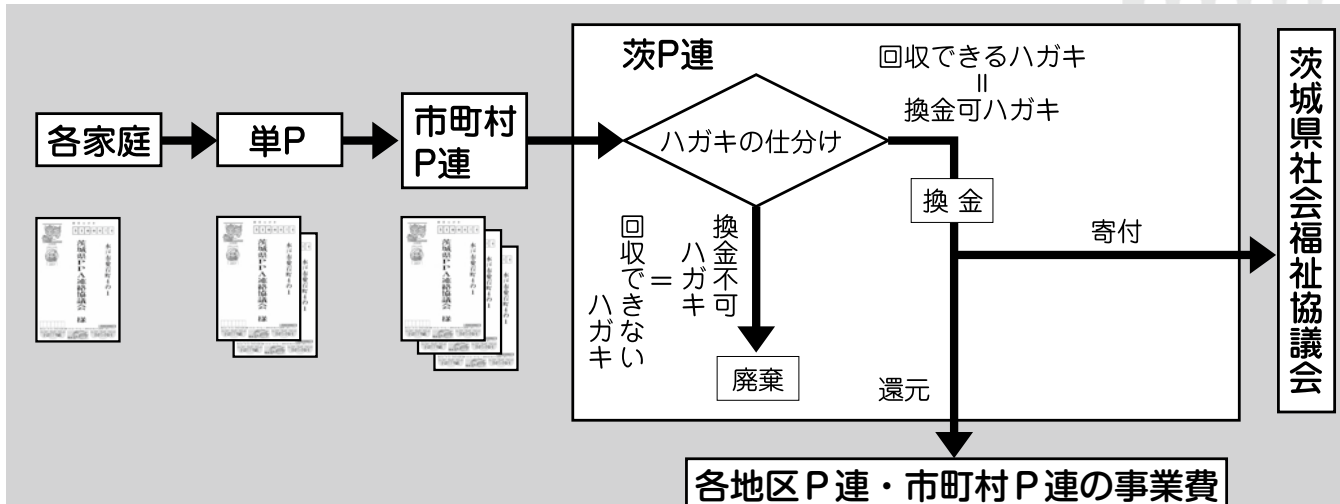
## あなたの善意をお待ちしております

書き損じハガキ回収活動 ～会員1人1枚以上を目指して！～

お預かりした書き損じハガキは、次の目的のために使用させていただきます。

- 茨城県社会福祉協議会等への寄付を通じて、福祉のために
- 各地区P連・市町村P連への活動補助のために

【回収方法】 各家庭 → 学校（単P） → 市町村P連 → 茨P連







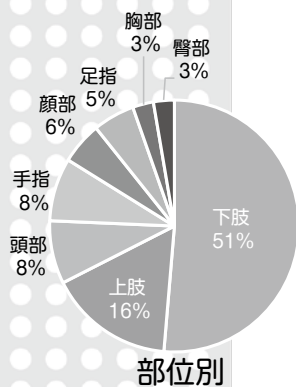
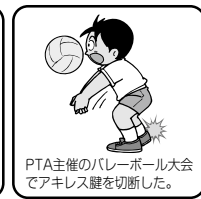
# 一般社団法人茨城県PTA安全互助会（略称(一社)茨P安)

(一社)茨P安では、右のようなPTA主催（共催）行事での事故によるPTA会員の負傷に対し、共済金や見舞金を給付することで、PTA活動が円滑に運営されるよう支援しています。

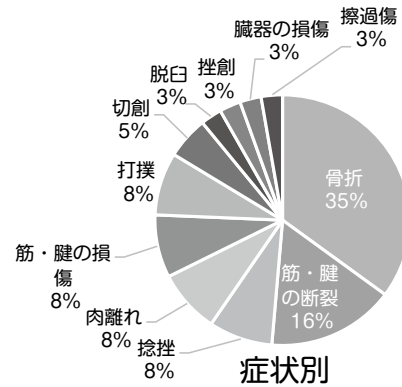
詳しくは、学校に3部ずつ配布してある「利用の手引き」をご覧ください。

## 〈今年度の状況〉

今年度は定時総会において、旧茨P安（任意団体）から事業と資金を引継ぎ、共済金給付事業と安全普及啓発活動を開始したところです。新たに（一社）茨P安に加入いただいた学校（幼稚園等含む）は816校でした。4～7月時点における事故発生状況は36件で、内訳は以下のとおりです。



負傷した部位は下肢が半分を占め、次に上肢が16%、次いで手指、頭部が同率の8%という状況です。



症状では骨折が約1/3を占め、次いで筋・腱の断裂が16%、捻挫・肉離れが同率で8%となっています。

香料見舞金の給付件数は56件となっております。

※安全普及啓発活動への助成について、申請様式をホームページにアップいたしました。申請内容の承認審査を理事会にて行うため、**遅くとも事業実施2か月前には申請**していただけますようお願いいたします。

## 茨城県PTA基金管理機構

平成22年に設立された本会は、主に厚生援助金や教育振興助成金の給付をしてきました。

これまで、平成23年の「東日本大震災」と平成24年の「県南地方を中心とする竜巻被害」に対しては、茨城県PTA連絡協議会の分担金及び茨城県PTA安全互助会の負担金から緊急援助金として、総額5,416万円を支給してきました。

この度の「関東・東北豪雨」により鬼怒川の堤防が決壊するなど、常総市をはじめとして県内各地で大水害が発生しました。幼稚園・小・中・特別支援学校の施設等や子どもたちの自宅も被災し、教育活動にも大きな影響が出ていることから、今回の大水害でも支援を予定しています。

被災した各単位PTAに対し、今月末までには支援に関する文書と共に「支援金申請書」を送付いたします。支援金の適切なご活用並びに一日も早い復興を願っております。なお、今回の支援の対象は、一般社団法人茨城県PTA安全互助会の加入校とさせていただきます。

(代表理事 佐藤 雅義)

## 編集後記

自分とは無縁と思っていた広報委員。お蔭様でたくさんの文章を読み、脳が大分活性化してきました。今年度より「われら茨P連」の発行は、年2回になります。皆様に少しでもお役に立てるような情報をお届けできるよう、広報委員みんなで頑張っています。県内の熱いPTA情報をぜひお見逃しなく。

(広報委員 田上 秀子)